

社会公益のために貢献してきた団体、個人に贈られる第41回「キワニス社会公益賞」(横浜キワニスクラブ主催)の授賞式が10日、横浜市内のホテルで行われ、児童養護施設の子供たちを支援する団体「横浜雙葉小学校父母の会 高風子保育園ボランティア」(同)

市中区)が受賞した。同団体の代表、織田真実さん(34)は「限られた時間でも、子供たちのために自分にもできることがある。そんな考えが(この授賞を機に)広まればうれしい」と喜びの言葉を口にした。

(王美慧)

# 児童施設 真心で支え



キワニス社会公益賞が「横浜雙葉小学校父母の会 高風子保育園ボランティア」に授与された。3=10日、横浜市(王美慧撮影)



児童養護施設「高風子保育園」で子供たちの「バグ」を手作りする(提供写真)

## 「横浜雙葉小学校父母の会」ボランティアにキワニス社会公益賞

平成28年4月の夏。見ちゃアソカが並ぶ、どの児童養護施設「高風子保育園」家庭でも見かける光景に見える(同区)にボランティアで訪れていた織田さんは、廊下を歩きながら「ある“もどかしさ”を感じたという。それを

### 物で満たされない

「子供部屋には多くのおもちゃやソファが並び、どの児童養護施設「高風子保育園」家庭でも見かける光景に見える(同区)にボランティアで訪れていた織田さんは、廊下を歩きながら「ある“もどかしさ”を感じたという。それを

もあると知った。これが、児童養護施設の“現実”だ。ボランティアになった洋服を補修したりするほか、施設内の掃除などや、貧困などを理由に、虐待や貧困を離れて暮らす子供の親元を離れた暮らす子供サポートする。

素人が作ったものよりも買った物の方が喜ぶのではな

「物では埋めいか」。そんな思いもよまなかった。そんな思いもよまなかった。そんな思いもよまなかった。そんな思いもよまなかった。

時間と手間をかけ

キワニスクラブ 世界三大奉仕団体の一つで、「世界の子どもたちに奉仕することを通じて、世界がよりよくなることを目指す」ことを使命に活動している。現在は世界9カ国に約7千のクラブがあり、約20万人が所属している。日本には35のクラブがあり、横浜は昭和49年に8番目に設立。児童虐待防止活動やコンサート、ボランティア活動などを支援するなど、活動は多岐にわたる。

2018年(平成30年)5月12日(土曜日)

設置

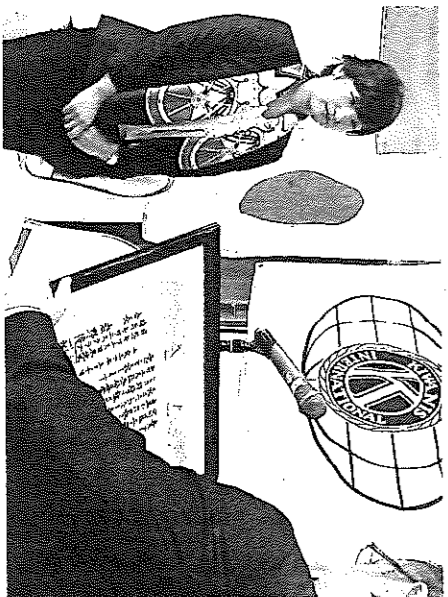
賞

業

賞

### 子供園支援で「キワニス」表彰

#### 横浜雙葉小学校父母の会



表彰式に臨む織田さん(横浜市内で)

横浜市中区のボランティアと子供たちの衣類の補修やアイロンかけなど、施設職員ではなかなか手が回らない作業を4年近く手がけてきた。現在100人ほどが活動しているという。「キワニス社会公益賞」を受賞した。同賞は、奉仕団体が地域に大きく貢献したり、個人や団体を表彰するもの(34)が岩野俊一(副会長から)で、今年度で41回目。同小児童の保護者らで構成する今回の受賞団体で、日本では横浜を含め現在計35

る高風子保育園を支援しよう

クラブが活動している。